

浜田山小学校 令和7年度第4回学校運営協議会会議録

学校名	浜田山小学校
記録者	高橋 達

開催日時	令和7年9月11日(木)15時30分～16時30分
開催場所	浜田山小学校 校長室
出席者(委員)	佐々木会長・近藤委員・安藤委員・斎藤委員・関谷委員 三井委員・山下委員・桃園委員・高見澤委員・高橋委員
出席者(学校)	緒方校長・中村副校長・笹川副校長
傍聴者人数	なし
会議内容(次第順)	
【報告事項】	
①校長挨拶 ②会長挨拶 ③学校の教育活動について ④CSだよりについて ⑤意見交流	
【協議事項】	

主な意見
【報告事項】
学校の教育活動について
1. 児童・学級・教員体制
- 児童数: 約830名(区内最多)、学級数: 区内2位。
- 教員配置: 英語担当が学級担任を受け持ったため、英語担当配置を一部変更。
- 算数: 教員2名不足により、当面は学級ごとの指導で学習水準を維持。
2. 安全・暑さ対策／校舎環境
- 暑さ対策: WBGT を校庭で実測し、外活動を適宜制限。夏季は屋外活動が困難な日が多い。
- 断熱工事: 年内に3階教室の天井断熱を順次実施。工事に伴い冬期一部教室で一時的に空調停止。
- 西門スロープ: 道路法令上の指摘により撤去(自転車持上げが必要だった経緯あり)。
3. 学力・学習状況と生活実態
- 全国学力学習状況調査: 東京都・全国平均を大幅に上回る。特に算数(思考・判断・表現)が顕著。
- 学習時間: 1日3時間以上学習する児童が都平均の約2倍。一部で授業中の集中低下が見られる。
- 学校満足感: 「学校が楽しい」に当てはまらないの割合が全国・都平均よりやや高め。
- 規範意識: 「いじめはどんな理由でもいけない」「人が困っている時に助ける」への強い賛同の比率が相対的に低め。
4. いじめ・不登校について
5. 情報提供・行事
- 講演・鑑賞: 外部講師によるいじめ防止講話／能楽堂学園 和太鼓部の演奏鑑賞。
- 選定療養費: 紹介状なしで大規模病院受診時に自己負担が発生する制度(救急受診時に発生する場合あり)について、保護者周知を検討。
- 情報機器・サービス: 教職員の公用スマホ持込は原則禁止(緊急時等の例外あり)。服務事故防止研修を実施し、教員として振る舞いの約束を掲示。
- 質問対応: 同学年に日本語が不自由な児童が2名在籍した時期、ポケトーク不足を補うため翻訳アプリを一時使用したケースあり(現在は学校配備端末の活用を徹底)。
- 記念樹: 70周年記念の桜が順調に成長。既存の大樹は樹木医の診断を継続。
CS(学校支援本部)だよりについて
- 「CSだより」: 年2回発行へ(年度早期に委員紹介を行い周知強化)。
- 今年度は1ページに集約し、9～10月の配布を目標。業者変更の上で制作進行。

【協議事項】

- 3.学校では、「人を助ける」等の心の教育を教育方針の柱として継続強化。
- 4.いじめ・不登校(質疑応答の要旨)
- いじめ:6月のふれあい月間で40件(1学期報告、教委へ届け出)。年間は100件弱が目安。
 - 定義は従来どおり「相手が嫌だと思ったらいじめ」。
 - 不登校:個別事情に応じ、校内外資源と連携し支援を継続。
 - 教室逼迫のため、専用教室の常設は困難。中学校の高井戸チャレンジクラス等、地域資源の活用。

次回の会議日程

日時	令和7年10月14日(火)15:30~
会場	浜田山小学校 校長室